

まどろむ



まどろむ

うとうと眠ってしまつて。目がとろとろになる。「目がとろむ」「まどろむ」「なつた」といふ。



地団駄を踏む



地団駄を踏む

「地団駄」とは製鉄炉に空気を送り込むための足踏み式送風機のこと。「悔しい」と地面を踏み鳴らしたくなる気持ちをたえています。



大黒柱

大黒柱



一家を支える人物や家屋の最も太い柱のこと。語源は諸説あり、家屋を支える柱が炊事場に多かったことから、台所にまつられる神様「大黒天」にちなんだとも。

蝉の羽月



蝉の羽月

六月の衣替えの季節のこと。蝉の羽を思わせる透けるような薄い着物を着始める時期であることが由来。

麦秋



麦秋

初夏の麦の刈り入れ時期のこと。「この場合の秋は、稲の収穫の時期になつて」収穫のときを意味しています。

